

愛してやまない

私の地元

今日の地元

埼玉県入間市

執筆：流通システム部

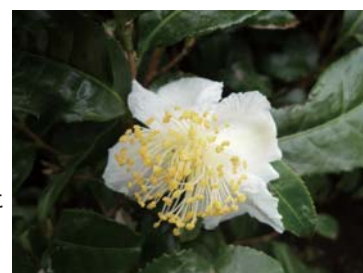
小口 笑

私の地元をご紹介します。
私は埼玉県の入間市に住んでいます。

近年では東京のベッドタウンとして、マンションがよく建設されています。都内にお住まいの方ですと「三井アウトレットパーク入間がある地域」というと、お分かりになる方もいるのではないのでしょうか。

私の住んでいる地域は三井アウトレットパークのある市街地からは離れており、まだ緑がたくさんあります。特に目を引くのがお茶畑です。5月ころには新緑まぶしくとてもきれいな光景をみることができます。また10月～11月はちょうどお茶の花が咲く時期でもあり、白い小さな花がたくさん咲いていました。

新宿まで電車で約90分と以外と(?)近いので、もしお買いものなどの用事がありましたら、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



社内潜入調査!!侵入者を阻止せよ!!～File:5～



ちょっと風邪気味、山岡です



ズラリと並ぶスマホたち

今回も前回に引き続き、山岡さんの机で気になるもの発見!スマホがつも並んでいる…。あ!iPhone4Sではないですか!!
これは、ちょっと説明してもらいましょうか?
iPhone4との違いはなんですか?

いよいよ、iPhone4Sが発売になりました。私はTwitter情報を駆使して無事に発売当日に購入できましたが、みなさんはいかがだったでしょうか?

さて、今回発売されたiPhone4Sですが、外観はほとんど前モデルのiPhone4と変化はありません。

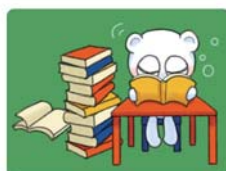
新鮮味がないかもしれませんが、一方でiPhone4のデザインがいかに洗練されていたかを物語っているとも言えます。しかしこのiPhone4S、外観は変わっていませんが中身は大幅にグレードアップしています。処理能力の向上やカメラ機能の強化、さらにはSiri(シリイ)と呼ばれる音声機能が新しく搭載されています。

見た目に騙されてはいけないということですね!

処理能力の向上というのはインパクトがなく一見大したことがないように見えますが、人間の感覚というのは、コンマ数秒という僅かな違いでもストレスの感じ方が違ってきます。そして、今回新しく搭載された音声機能のSiriは、発展途上という感がありますが素晴らしい可能性を秘めています。キーボード入力にしてもフリック入力にしても、ITに縁遠い人にとってはハードルが高いものです。音声入力というのは、そのハードル自体を取り払ってしまうかもしれません。日本語対応は来年になりますが、今後が楽しみです!

iPhone4の発売から1年4ヶ月が経ちました。日本のスマートフォン市場に旋風を巻き起こし、今やスマートフォンの代名詞となったiPhone。そして、今か今かと待ちわびていた新iPhoneです。今回もまた、ワクワク感を感じさせてくれるんです。
そう、iPhoneならね。

編集後記



会社のとなりの花園神社で酉の市が始まりました。誰かが熊手を買うたびに、三本締めが聞こえてきます。お昼は、屋台でお好み焼きを買ったりと11月は楽しい月です。

WEB コンサル部
yamada

アイロベックス通信は
弊社HP上からもダウンロード頂けます。
最新号、バックナンバーも掲載中です。

URL→<http://www.ilovex.co.jp/info/newsletter/>

アイロベックスのソーシャルメディア

Twitter→http://twitter.com/ilovex_official

Facebook→<http://www.facebook.com/ilovex.co.jp>

ilovex Magazine

TEL : 03-3232-2525 / FAX : 03-3232-2520 http://www.ilovex.co.jp/

ilovex MAGAZINE 通信

アイロベックスが月1でお届けしている広報誌

11
November, 2011
Vol.73



リスペクトメンバー賞、受賞者決定

YourSchool、完全スマホ化対応

社長のひとこと スティーブ・ジョブズ1を読んで

スティーブ・ジョブズ | を読んで

代表取締役社長 杉山 淳子



スティーブ・ジョブズと同じポーズでのリクエストに答えてくれました

正直、「はじめに 本書が生まれた経緯」を読んだだけで、体がゾクゾクしてくるのを感じました。なんか、今まで知らなかった新しい何かに接する前の予感みたいなものです。この著者「ウォルター・アイザックソン」は、伝記を書いて有名な人です。検索で調べてみたら、アインシュタインやキツンジャーの伝記が翻訳で見つかりました。最初を読みだしたのですが、ジョブズの人となりがよくわかる本になっています。この後の2がとて楽しみます。

以下は「はじめに」からの抜き書きです。

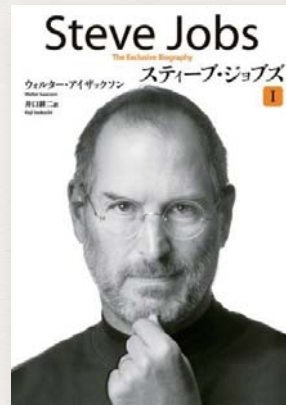
子供の頃、自分は文系だと思っていたのにエレクトロニクスが好きになってしまった。その後、文系と理系の交差点に立てる人こそ大きな価値があるという話を読んで、そういう人間になろうと思った。

そして、21世紀という時代に価値を生み出す最良の方法は創造性と技術をつなぐことだとジョブズは理解していた。

ジョブズもアップルの人々も、他人と違う考え方を "think different" ができる。だからユーザーを集めて話を聞いてそれなりに進化した製品を作るのではなく、消費者自身が「欲しい」と気づいていかなかった、まったく新しい機器やサービスを開発できたのだ。彼の個性と情熱と製品は全体がひとつのシステムであるかのように絡み合っている。

そして、(彼の物語には)イノベーション、キャラクター、リーダーシップ、価値についての教訓があふれているのだ。

読んでいて何度も、涙があふれてくるのを感じました。それは、彼のパッション(情熱)に圧倒されたのみならず、魅了されたのです。これは、初版10万部完売なのは当たり前の本です。ぜひものづくりに携わる人なら必ず読むべし!



スティーブ・ジョブズ | (単行本)
ウォルター・アイザックソン (著)、井口 耕二 (翻訳)

アイロベックス・リスペクトメンバー賞、受賞者発表!! Respect Member

去る2011年10月15日(土)、大久保の関東IT 健保会館にて、株式会社アイロベックス2012年度キックオフが開催されました。その中で、2011年度のリスペクトメンバー賞の表彰が行われました。リスペクトメンバー賞とは、株式会社アイロベックスの経営理念に則り、最も組織貢献に努めた社員に送られる賞です。今回は、2011年度リスペクトメンバー賞を受賞された小原一樹のインタビューをご紹介します。

名前：小原一樹(こばら かずき)

プロフィール：2007年4月入社27歳。東京都府中市出身で、現在も府中市に在住。最近、彼女から、「彼氏にも家事を覚えて欲しい」と一人暮らしを勧められている。

第一回リスペクトメンバー賞受賞された感想を一言どうぞ!

いままで頑張ってきてよかったです。与えられた仕事を、文句を言わずに、着々とこなしていたことの積み重ねが評価されたと思います。自分に与えられた仕事は、振られただけでも、ありがたい。その期待に応えたいと日頃から考えていました。

受賞にあたって感謝したい方は?

自分を認めてくれた人達に感謝したいです。特に、古郡さん、岡部さん、次郎さん、そして、上司の見並さんには、気持ち的に助けられました。

この一年で成し遂げたいこと

いまのプロジェクトを無事に終わらせることだけを、まずは考えています。システムをお客さまと一緒に作りあげていくという思いを持ち、お客さまのご要望に対して、どうすれば実現できるかという視点を持って取り組んでいます。



Your SCHOOL 完全スマートフォン対応しました!



執筆：IT プロフェッショナル
事業部
西横 正俊

YourSCHOOLってなに?

YourSCHOOL(ユアスクール)とは、塾やカルチャースクールなどの教育業向けのWEBシステムです。スクールの予約システム、生徒さんの情報登録、生徒カルテや出欠簿などの盛り沢山の機能が揃っています。

近頃、周りでスマートフォンを持っている方が多く見受けられるようになりました。YourSCHOOLでは、生徒さん向けの予約システムを携帯電話とパソコン用に開発しておりましたが、スマートフォンの需要が高まってきましたので、スマートフォン版の予約システムを開発することになりました。

パソコン用の予約システムもスマートフォンで使用できるのですが、スマートフォンでアクセスすると、ボタンや入力項目が小さく操作性がよくありません。携帯用のサイトはというと、通信量を抑えるために画像を極力使用していないため、見た目が素っ気なく、スマートフォンで使用するには操作性もよくありませんでした。

スマートフォンのWebシステムで気を付ける点は、ユーザーの入力を極力減らす点とです。私自身もスマートフォンを利用していますが、文字入力が多い申込フォームは避けがちになってしまいます。お客様に便利に使っていただくために、入力はログインIDとパスワードだけで、それ以外は、ボタンをタップする操作だけで、予約確定、予約のキャンセルが行えるようにしました。

また、携帯電話と違って、画面サイズも大きく表現できる幅も広がるので、携帯のサイトではリンクを並べるだけのメニューだったのもアイコンを使って、より視覚的にわかりやすくすることができます。

11月10日リリースですので、実際にデモサイトをご利用いただくことも可能です。ご興味のある方は、是非ご連絡ください。



スマートフォン画面例

MCPを1年間で4つ取得しようプロジェクト、見事達成!!

執筆：システム開発事業部
古郡 孝祐

MCPとは、Microsoft認定プロフェッショナルの略でマイクロソフト社が、マイクロソフト製品の実践的スキルや幅広い知識を認定する世界共通の資格のことを指しています

■ 昨年の11月から約1年かけて社内では水面下で、とあるプロジェクトが動いていました。その名も『MCPを1年間で4つ取得しようプロジェクト』です。実は、マイクロソフト社が制定している「マイクロソフト認定プロフェッショナル」の資格試験を一人が4つずつ、4人全員が取得することにチャレンジしてきたのです。結果、9月末までに私を含め4名の社員が無事に全試験に合格することができました。

■ なぜこのようなことを始めたかという、マイクロソフト社のパートナー制度が今年から変わってしまったからなのです。アイロベックスが、今までと同じ「ゴールドパートナー」として認定される為には「4人がそれぞれ4つのMCPを取得する」ことが必須だったのです。そのため、メンバー全員、「何がなんでもゴールドパートナーを守るぞ」という気持ちで長い戦いに臨みました。

■ 1年間という長い期間をかけた計画ですが、実際には、2,3カ月で1つの資格を取得していかなければいけないので仕事と合わせて精神的についつい日々もありました。しかし今は、一人の落伍者も出さず、全員で目標を達成できたことを非常にうれしく自慢に思っています。成功の秘訣は、互いに厳しく監視し、時にはやさしく励ましあい、支えてくれた仲間がいたことにつきます。もし一人でこれを行っていたら、途中で投げ出したり期限を延長したりして達成が難しかったでしょう。別に一緒に同じ勉強法をとったわけではありません。むしろ一人ひとりがその人なりの勉強法を進めることを尊重して、相談されない限り、あまり口を出しませんでした。

■ 資格試験に合格することができたこともうれしいですが、違う年代の同僚と一緒に同じ目標をもって成果を出せた満足感があります。

■ また、勉強することで仕事をしているだけでは使わない技術についても身につけることができ、技術的にもまた一段と自信ができました。学び続けることの楽しさを実感できただけでなく共に勝ち取ったチームワークの喜びを感じることができたプロジェクトでした。



資格をゲットした4名
八田 忍
古郡 孝祐
松本 智子
千葉 鷹志



笑顔でインタビューに応える小原氏